

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

冬はスプラウト栽培！

雪に閉ざされ室内で多くを過ごす冬。家にある容器でスプラウト栽培はいかがでしょうか。野菜の双葉を食べるスプラウトの代表選手は貝割れ大根ですが、最近はキャベツ、ブロッコリー、ルッコラなど、いろんなスプラウト用のタネを量販店で気軽に買うことができます。栄養もあり、何より部屋に可愛らしい緑があるのは良いものです。芽が出たらいつも過ごす暖かい部屋の窓辺に置き、日を当ててください。数日で莖が間延びした柔らかいスプラウトができます。早春は花や野菜の種まきの季節ですが、その場合は短くてしっかりとした芽を育てよう頑張るのですが、スプラウトはその逆で良いのです。ヒョロっと長くていいので水をきれいに保ちながら暖かな部屋で成長を楽しんでください。

(きのした)

セツブンソウ

セツブンソウという花を知っていますか？セツブンソウは日本に自生するキンポウゲ科の多年草で、関東以西の落葉樹林の中などの石灰質の土壌（アルカリ土壌）で育ちます。節分の頃から咲くので「節分草」の名がついたそうです。5センチほどの草丈で白いがく片に、黄色いY字をした花弁、中心の花粉は濃紺と、小さいながら繊細な色合いの花が特徴です。北海道で自生はしていませんが寒さには比較的強いようです。また黄色い花を咲かせる「キバナセツブンソウ」（エランティス）はヨーロッパ原産で鮮やかな黄色の花は福寿草によく似ています。ヨーロッパ原産のキバナセツブンソウのほうが北海道の気候にはあっているようで雪解けのガーデンを彩ってくれます。

(いとう)

色彩館のメインツリー

色彩館の真ん中にあるクスノキはクスノキ科ニッケイ属の常緑樹で、アボカドやシナモンはこの仲間。主にベトナム、中国南部、台湾などに自生し、今から1400年ほど前にはすでに日本に移入されていて、九州、四国など神社仏閣の材料や仏像の材料として、また境内の景観樹として植えられました。さらに粉碎した枝葉を蒸留して得られた成分はカンフル剤として防虫（樟脳の原料）・鎮静効果があり昔から重宝されてきました。葉がよく密生することから現在は緑化樹としても都市の騒音対策にも使われています。さて、クスノキは樹齢が長く、こうした歴史的背景があり巨木が多いのが特徴。例えば特別天然記念物に指定された徳島県内のクスノキは樹齢が数千年とされ、枝張りが40mを超えるそうです。ハワイの「この木何の木」でも敵わないサイズかも知れませんね。また、福岡市には幹周りが24m（直径で8m）という関取タイプ「蒲生のクス」も有名です。色彩館にお越しの節は、是非この話を思い出してご覧いただければ幸いです。

(かわはら)

春の妖精たち

バラ園色彩館内の花壇には、「春の妖精」と呼ばれるスノードロップが早くも開花始めています。温室内なので本来の姿よりやや大ぶりの感じですが、やはり可憐です。庭植えだと3月樹木の株元の雪が融け始めると思いがけず蕾が出来ている姿を見つけ、

「春」を感じ取る私達です。学名 *Galanthus nivalis* : ガランサス ニバリス。ガランサスはギリシャ語で「乳の様に白い花」を意味しています。ニバリスはラテン語で「雪」を語源として雪の中や近くに成長するという意味があると言われています。妖精のような可憐な花を雪のこの季節に愛でにお出掛け下さい。(たかはし)

*「今月の便り」次ページへつづく⇒



植物に必要な栄養素

空気中からは、酸素・水素・炭素を吸収し、根からは三要素（N: チッソ・P: リン酸・K: カリ）で育ちますが、そのほかに二次要素として、カルシウム・マグネシウム・イオン、更に微量元素として、マンガン・モリブデン・ホウ素・亜鉛・塩素・銅・鉄の七要素が必要です。自然界では、動物のフンや死骸などの有機物が、土壌中の微生物を繁殖させ、さらにその微生物によって無機物に変えられ、植物の根から吸収されていきます。こうして植物が育っていくわけです。しかし、お庭やコンテナ中だとそうはいきません。自然と栄養分が入ってくるサイクルがないので、私たちが定期的に与える必要があります。これが肥料を与えなくてはいけない理由です。たいいていの肥料にはN・P・Kの分量が表示されています。目的に合わせて、これらの肥料を選ぶとよいでしょう。（ながやす）



室内公園 色彩館



ロニセラ ニティダ
'レッド チップ'

Lonicera nitida 'red tip'
スイカズラ科スイカズラ属
分布：中国西南部



今月の開花情報

新芽が紫色になる品種です。ひよろひよろっとしなやかに伸びる芽、葉脈の浮き上がり方、葉色…どれをとってもセクシー（笑）色彩館では 2 月中旬ごろに黄緑色で先端がほんのり紫の地味〜〜な花を咲かせます。結実が少ないのですが、初夏には紫色のガラス玉のようなエレガントで美しい実をつけます。花も実もぜひ探してみてください。

【知恵袋】ウサギの数え方・・・？

色彩館ではウサギを飼育していますが、
ウサギの小屋前で親子の会話
子供「ウサギが4匹いるよ・・・可愛い・・・(*^。^*)」
母親「ウサギはね、1羽2羽と数えるのだよ」
子供・・・理解不能(ー_ー)!!

今ではペットとして可愛がられていますが、昔は大切な食糧源でした。しかし、江戸時代に仏教が浸透して来たことにより、4足（獣類）の肉を食べることが禁止されました。なぜなら仏教の教えに「獣を殺して食用にしてはならない」とされていたからです。鳥は2足ですから食べてもよかったそうで、うさぎ=鶉（う）鶯（さぎ）ウサギの耳は鳥の羽みただからと理由づけ、うさぎを鳥とみなし、ウサギを食べるためコジツケタ数え方が今に伝わっているようです。子供に、ウサギを食べたとか、狩りをして死んだウサギ持ち運こんだは夢がないので、私なら、「ウサギには羽は無いけどピョンピョンと飛び跳ねるよね」「飛び跳ねるから、鳥と同じく1羽2羽と数えるんだよ」ウサギを食べるためなんだよと言うより、チョット夢があるかな？



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第五十七回

ハイブリッドティーローズ

ニコレット

Nicolette

作出国：南アフリカ共和国

作出者：Ludwig

作出年：1995年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：Esther Geldenhuys の枝変わり

当園の品種リストを眺めていると、ひとつだけ作出国が南アフリカとなっている品種がありました。今回はこちらの品種を取り上げてみようと思います。

ニコレットは淡いアプリコット色が美しい剣弁高芯の美形なハイブリッドティーです。巻きが美しく、肉厚に感じる花びらとその形状とが非常にマッチしているように思えます。その美しい巻きが開ききったあとには黄色い蕊が顔を出し、これもまた愛嬌がありますよ。秋になると色濃くなり花びらの質感もよりしっかりとってきます。オレンジピンク色の Esther Geldenhuys の枝変わりということですが、この品種は枝変わりしやすいらしく、他にも Leana (白色)、Lisa (濃いピンク色)、Vanessa (赤色) という枝変わり品種があります。Nicolette も然り全て女性の名前？四姉妹と言ったところでしょうか。ちなみに、Esther Geldenhuys も世界バラ会連合の創立メンバーである女性の名から付けられています。

作出者の Ludwig Taschner 氏はドイツ生まれで、南アフリカでナーサリーを営んでいます。育種といえばヨーロッパや北米が有名ですが…なぜでしょうか？ Ludwig 氏が戦後東ドイツの情勢に耐えかね西ドイツへ逃亡したのは、ベルリンの壁が建設さ

れる前年の 1960 年、18 歳のときでした。西ドイツで南アフリカへ渡ることに興味をもち、実家の果樹園で子どもの頃からすでに育苗などに携わっていた彼は、スイスやイギリスで園芸の仕事の経験をさらに積みました。その時に、イギリスの John Waterer のバラの広告を見て、バラに惹かれていったそうです。1962 年に南アフリカの行政府がある首都 プレトリアへ渡り Buss Nurseries で働きはじめ、1971 年に独立しプレトリア初のガーデンサービスをはじめました。切花ではなくコンテナ、いわゆる土付きのバラ栽培を推進し、国際的なバラ品種の普及に努めてきました。今では世界中の育種家と強い繋がりを持ち、南アフリカの環境下で毎年数千もの新品種テストを行い、10～20 品種ほどを選抜して発表しています。特に同じドイツである Koedes との繋がり深く、これまでに 300 以上の Kordes 品種を世に輩出しています。

ニコレットは整形式ローズガーデンの中心付近に植栽しています。今年はそれなりに雪が積もり、寡雪による凍害の心配はなさそうですが、春が来て寒の戻りが収まるまでは油断できません。もう今から開花が待ち遠しい！初夏にあの可愛らしい顔にまた出会えるよう願っています。

第10回

入場無料

いわみざわ洋らん展

日程 2019年2月21日(木)～
2月24日(日)

時間：9:00～17:00(最終日は16:00まで)

場所：いわみざわ公園バラ園内
室内公園 色彩館ロビー

祝・第10回
記念！
プレゼント企画
あります♪

出展募集

丹精込めて育てたあなたの一鉢を出展して、
会場をランの花園にしてみませんか？

出展料は何点でも無料です。

お申し込み：2月16日(土)までに

洋ラン愛好会 秋葉さん

(0126-56-2110) まで

最終日
2/24(日)は
講習会も
あります

二胡演奏会

木香薔薇と奏でる二胡の調べ

3月21日 春分の日 14:00～

場所 いわみざわ公園バラ園内
室内公園「色彩館」 大温室

入場料 高校生以上 100円 小中学生 50円

今月の市民園芸講座のご案内

●2月17日(日) 13:00～15:00 折バラを楽しもう 上級

料金：500円 定員：5名 講師：バラ園スタッフ

●2月24日(日) 13:00～15:00 洋ラン栽培の楽しみ方

料金：無料 定員：40名 講師：川面 豊樹さん えるむ花園

これは面白い！



編集・発行 空知リゾートシティ株式会社(いわみざわ公園バラ園指定管理者)
お問い合わせ いわみざわ公園バラ園 室内公園「色彩館」 0126-25-6111